

平成 27 年第 4 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	3	八木吉夫	<p>1 不動産賃貸借について</p> <p>(1) 学校教育環境の土地の賃貸借について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 古川中学校第 2 グランドは昭和 59 年 10 月より借用しているが、将来構想はどのように考えているか、伺う</p> <p>(2) 社会教育環境の土地の賃貸借について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 緒絶の館の土地建物は平成 5 年 5 月より借用しているが、将来構想はどのように考えているか、伺う</p> <p>2 まちなか再生について</p> <p>(1) まちなか再生には、地元住民のやる気とパワーが必要と思うが、行政としてどのように関わり、支援していくのか、伺う</p> <p>(2) 古川のまちなか再生が一部進んでいるように思うが、中心部の全体構想をどのように捉え、進めようとしているのか、伺う</p>
2	11	横山悦子	<p>1 9・11 豪雨災害について</p> <p>(1) 9・11 豪雨による被害状況を伺う</p> <p>(2) その被害状況をどう捉え、どう考えるのか</p> <p>(3) 市長及び職員の災害に対する意識を問う</p> <p>(4) 避難勧告の遅れと不備が指摘されているが、どう考えているのか</p> <p>(5) 前日の 10 日に大雨警報が出ているのに、なぜ避難準備を早めに出せなかったのか、その初動体制の反省は</p> <p>(6) 豪雨災害は天災ではなくて人災ではなかったのか</p> <p>(7) 豪雨災害の市民の怒りをどう受け止めているのか</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 市の避難用住宅は 3 カ月までだが、市民から延期の要望が出ていることへの考えを伺う</p> <p>(8) 床上浸水 1 m 未満が半壊としているが、半壊と大規模半壊の損害具合は同じと認識する。国への被災者支援の要望はどのようなものか</p> <p>(9) 東日本大震災のとき、被災者には日本赤十字から生活家電セットが寄贈されたが、本市の寄贈の考えは</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 見舞金は 3 万円と少額だが、条例改正の考えはないのか</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 見舞金と義援金の配分状況を伺う</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 見舞金はもう少し早めに対応できなかったのか</p> <p>(10) 防災無線の完全運用はいつからか</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 市のホームページで市内の豪雨状況を 10 日から 11 日にかけてなぜ発信しなかったのか</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 防災ガイドブックの作成はどうか</p> <p>(11) あの豪雨時にサイレンは聞こえない。戸別受信機の考えはどうか</p> <p>(12) 三本木地域の自主防災組織では一軒一軒に避難の連絡があった。自主防災組織の問題を問う</p> <p>(13) 渋井川を初めとする国・県管理河川の今後の復旧工事計画は</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	6	中鉢和三郎	<p>(14) 国・県への要望の結果はどうか</p> <p>(15) 災害時には一定期間のみでも行政の窓口一本化を考 えるべきだが、どうか</p> <p>2 子供の歯の矯正について</p> <p>(1) 校医からの問診票に「歯並びが悪い」と診断された児 童生徒数を把握しているのか</p> <p>(2) 早いケースで小学2年生から歯の矯正を始めていると 聞くと、保険適用外のため治療費が高額となってい る。市独自の助成事業の考えはどうか</p> <p>(3) 歯の矯正をしているといじめに遭う子供もいると聞 く。教育面でどう配慮しているのか</p> <p>3 地域で取り組む「引きこもり」の社会復帰支援について</p> <p>(1) 引きこもりやニートと言われる方々の実態把握には取 り組んでいるのか</p> <p>(2) 引きこもりやニートと言われる方々の社会復帰支援を どう考えているのか</p> <p>1 鳴子、田尻の両総合支所庁舎建替え事業について</p> <p>(1) 新年度において、鳴子、田尻両総合支所庁舎建設事 業の基本設計と実施設計が予定されている。双方とも地 元でさまざまな検討がなされ、説明会等も実施されて いるようだが、建設の方向性についての正式な書面は 議会に提示されていない。</p> <p>総合支所庁舎建設は、どちらの地域にとっても非常 に重要な案件であり、もし位置を変更するような場合 は、合併前の旧町においては議会の特別多数議決が必 要な事案であり、慎重かつ熟慮が必要と考える。</p> <p>しっかりとした総合支所建設の基本構想、基本計画 というようなものが必要と考えるが、所見を伺う。</p> <p>また、現在の田尻総合支所は昭和33年に建築され、 築57年を迎えるユニークな円形庁舎であり、登録有形 文化財の指定も噂されると聞くと、文化財としての価 値やその利活用方法についてどのような検討がなされ たか、伺う</p> <p>2 インバウンド対策（情報発信強化、サイネージの多国語 化、多国語対応可能な人材育成など）について</p> <p>(1) 平成20年10月1日に観光庁が発足し、我が国の観光 立国の推進体制が強化され、「ビジット・ジャパン」の かけ声のもと、訪日旅行促進事業が展開されている。</p> <p>昨年の訪日外国人旅行客数は1,341万人となり、京 都などの有名観光地には多くの外国人が押し寄せる事 態になっている。</p> <p>翻って本市を見ると、以前と比較すれば外国人旅行 客を目にすることも多くなったが、全国的な伸びとは 比べるべくもなく低調である。</p> <p>国内の観光業は、統計的にも国内旅行の低迷による 不振にあえいでいる。その中で、インバウンドはそれ を補う需要として期待が大きい。既に観光地間での競</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>争が激化しているが、2020年のオリンピック開催に向け、各観光地ともインバウンド対策強化にさまざまな取り組みを展開していると聞く。</p> <p>本市においても2020年に向けたインバウンド対策として、情報発信の強化、サイネージの多国語化や多国語対応可能な人材育成などさまざまな取り組みが必要と考えるが、新年度の具体的な取り組みを含めインバウンド対策についての所見を伺う</p> <p>3 今後の「道の駅」整備について</p> <p>(1) まちなか再生の議論の中で、市民病院旧本院跡地に「道の駅」を建設するという考えが整備手法の一つとして表明されている。</p> <p>一方、市内には我が地域にも「道の駅」を整備してもらいたいとの声も聞かれるが、新市建設計画や総合計画、実施計画に「道の駅」整備事業の記載はないものと認識している。</p> <p>また、道路管理者としての国土交通省に駐車場、休憩施設、トイレ、情報提供施設を整備してもらおうとしても、市内に複数箇所整備してもらうことは短期的に見て常識的に難しいものと考えられる。</p> <p>「道の駅」は地域振興の拠点となり得る施設であり、しっかりとした地域振興戦略に基づいた整備が肝要と考える。</p> <p>旧本院跡地を単にうめるために「道の駅」を建設するような考えではなく、「道の駅」建設を通して、人口減少の著しい地域の地域振興をどのように進めるのかしっかりとの方針が必要と考えるが、所見を伺う</p>
4	15	相澤孝弘	<p>1 9・11 関東・東北豪雨災害について</p> <p>(1) 渋井川の決壊した要因は何と判断しているのか。あわせて、被災地区の住民に対して決壊の検証結果と今後の復旧の内容についての説明はどこが、いつごろに行うのか</p> <p>(2) 決壊した渋井川への警戒態勢はどのようなものであったのか</p> <p>(3) 激甚災害の指定による復旧の範囲と対象外の対応は</p> <p>(4) 浸水被害の住宅、家財、自家用車、農機具、施設、農産物への対応は十分であったのか</p> <p>(5) 住宅や農業関係分野の復旧はどの程度進んでいると認識しているのか。あわせて、経済的に窮地に陥っている被災者への救済制度は市独自に考えていないのか</p> <p>(6) 現行の生活再建支援制度は実態に沿っていない。是正を求めていく考えはないのか</p> <p>(7) 被災の査定結果がその後の支援制度に大きな影響を与えるが、その査定基準と格差についてどう思うのか</p> <p>(8) 住宅再建時の産業廃棄物としての廃材等の処理費用は個人負担が当然なのか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	27	佐藤 勝	<p>(9) 被災自治体の伊藤市長と河川管理の責任者である村井宮城県知事との関係はどのようになっているのか</p> <p>2 TPPと本市の産業振興について</p> <p>(1) 補助金、助成金による農業振興は過保護ではないかという声が高まっている。補助金、助成金に頼らない農業経営を目指す新たな考えを真剣に取り組むべきと思うが、いかがか</p> <p>3 まちなか再生と人口減少への取り組みについて</p> <p>(1) 市街地活性化（旧6町含め）と人口減少対策は一体で取り組まなければならない問題と思うが、どのように取り組む考えなのか</p> <p>1 おおさき地方創生総合戦略と持続可能な地域づくりの論点について</p> <p>(1) 新型交付金頼みの戦略からの脱却姿勢と独自性は</p> <p>(2) 市民協働の取り組みと、その仕組みづくりの構築は</p> <p>(3) 戦略は政策全体を管理し、「縮小の時代」にあった経営体を目指す考えは</p> <p>(4) 市長には政策提起、職員には意識改革と現場主義を求めるが、どうか</p> <p>(5) 政策実現に向け、スクラップ・アンド・ビルドの姿勢で新たな財源を生む考えは</p> <p>(6) 雇用の場の創出こそ持続可能な地域づくりの根幹と考えるが、どうか</p>
6	25	小沢和悦	<p>1 大崎市民病院の改革の取り組み状況について</p> <p>(1) “医療ミス”と疑われた場合の病院の対応は</p> <p>(2) 労働基準監督署の勧告と指導への対応は</p> <p>(3) 救急隊の努力にもかかわらず、行き先がなかなか決まらない場合の大崎市民病院の「救急患者」への対応</p> <p>2 旧南病棟の活用について</p> <p>(1) 議会で旧南病棟を回復期リハビリテーション事業施設として活用することについて論議され、執行部が実現に向け前向きな答弁をしていたが、それは市長の意向に反する答弁として聞いていたのか</p> <p>(2) 旧南病棟を回復期リハビリテーション事業として活用する方向は、千手寺周辺地区住民から「病院として残る」、「地域の賑わいの復活につながるかも」と期待されていたが、相談も報告もなく、11月13日開催の所管常任委員会で突然「実施しないことにした」と終止符を打つ、その姿勢に問題はないか</p> <p>3 福島第一原発事故により発生した放射能汚染物質の処理方法について</p> <p>(1) 「世界農業遺産」登録は、大崎の水源地田代岳への指定廃棄物最終処分場建設とは全く関係ないと思っているのか</p> <p>(2) 指定廃棄物最終処分場建設問題に対する11月19日の宮城県知事発言と環境省主催県内市町村長会議に臨む</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	14	只野直悦	<p>市長の考えについて</p> <p>4 人事院勧告への対応について</p> <p>(1) 少なくとも完全実施するべきと思うが、どうか</p> <p>(2) 非常勤職員にも反映されるべきではないか</p> <p>1 安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) 9・11 豪雨災害の検証と教訓は</p> <p>(2) 風水害における自助、共助、公助の備えは</p> <p>ア ハザードマップ作成の進捗とガイドブックの作成は</p> <p>(3) 江合川堤防の危険箇所の補強は</p> <p>(4) 国土交通省唐崎水門の運用基準の確認は</p> <p>(5) 県管理河川の水位周知河川指定の追加要望は</p> <p>2 活力ある産業のまちづくりについて</p> <p>(1) 花渕山バイパス完成と鳴子温泉郷の振興策は</p> <p>(2) 鳴子ダム水源地ビジョンとの連携による振興策は</p> <p>ア 水源地域と下流地域の子供たちの交流促進</p> <p>イ 鳴子ダム湖面利用</p> <p>(3) ささ結の販売戦略状況と今後の方策は</p> <p>(4) 大崎市産木材の活用推進事業の進捗状況と今後の方針は</p>
8	4	氷室勝好	<p>1 雨水対策事業について</p> <p>(1) 公共下水道としての雨水対策事業、さらに排水路整備事業等、常襲冠水地域に係る浸水対策事業の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 各事業への測量、設計に取り組んでいる中、地形及び浸水時の排水状況等の調査精度が重要と認識するが、内容を伺う</p> <p>(3) 公共下水道の雨水対策事業実施に伴う関係地区への周知等にどう取り組んでいるか、伺う</p> <p>2 教育施設整備事業について</p> <p>(1) 学校施設の耐震補強等工事及び社会教育施設整備事業の進捗状況を伺う</p> <p>3 文化財の保護と継承について</p> <p>(1) 文化財保護事業等の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 地域文化遺産の保護と郷土史学習等への活用が肝要と認識するところだが、その進捗状況と成果目標を伺う</p> <p>(3) 本市のふるさと歴史館には常設展示室と企画展示室があるが、常設展示室の基本的な活用法を伺う</p> <p>(4) 特別企画展が開催されたが、指定文化財に準ずる地域の歴史的な文化遺産の保護と継承への取り組みを伺う</p> <p>4 おおさき地方創生総合戦略について</p> <p>(1) 市内各地域では、急激な人口減少により地域力の衰退が予測されている。総合戦略では、市の創生には農山村部も含めた地域の再生が不可欠と掲げているが、それに向けた取り組みを伺う</p>
9	23	豊嶋正人	<p>1 子ども・子育て支援新制度及び公立施設整備について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>(1) 3歳児の保育士の配置を20：1から15：1に改善するための予算を措置し、公民含めて改善が図られたのか</p> <p>(2) 保育士の給与について</p> <p>ア 民間保育士については、新制度の実施により予算が確保されている3%加算と国家公務員給与改善に基づく2%を合わせた5%加算が確実に実施されるよう民間保育所に指導、確認しているのか</p> <p>イ 5%の改善については昨年度の給与を基準とし、今回の予算措置とはかかわりなく実施される定期昇給については加算実績の対象外としているのか</p> <p>ウ 公立保育所の臨時・非常勤等の保育士の給与についても同様の措置を講じたのか</p> <p>(3) 老朽化等により施設整備を必要とする公立保育施設については、起債等の活用により建て替え等の措置を考えているのか</p> <p>(4) 新制度の実施に伴い導入された保育教諭の要件を満たすため、保育士資格または幼稚園教諭免許を所持していない保育士や幼稚園教諭が免許等を取得するための経済的支援及び職務上の配慮がなされているのか</p> <p>(5) 消費税及び地方消費税の引き上げに伴う税収は社会保障の充実、安定が目的であることから、保育の質と処遇改善に必要な予算の確保と配置基準のさらなる改善を進めるなど、適切な執行と執行状況を公表すべきではないのか</p> <p>2 介護保険制度改正及び介護報酬改定について</p> <p>(1) 要支援者に対する訪問介護と通所サービス</p> <p>ア 訪問介護と通所介護サービスの市町村事業への移行に当たっては、利用者の意向と選択及び主体性が尊重されるとともに、介護認定及びサービスの利用が抑制されないための措置が講じられているのか</p> <p>イ 要介護認定手続きは、申請者に対して基本チェックリストを前提とすることなく、要介護認定手続きを基本とすべきではないのか</p> <p>ウ 訪問型サービスAと通所型サービスAは、利用者の権利を守るために既存の介護サービス同様にサービス提供拒否の禁止を要件とすべきであるが、どのように対応しているか。また、これまでの人員配置基準と面積基準を満たしているのか</p> <p>(2) 介護労働者の処遇改善と人材確保</p> <p>ア 介護労働者を安定的に確保するために、全ての介護事業所が介護職員処遇改善加算、サービス提供体制強化加算等の届出、請求をするよう促すべきではないか</p> <p>イ 介護職員処遇改善加算について、以下のとおり介護事業所に対し指導することの考えはどうか</p> <p>(ア) 新設された加算Iの届け出、請求をすること</p> <p>(イ) 安定的な処遇改善を進めるため基本給の賃金を改善すること</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	2	佐藤仁一	<p>(㊦) 加算の基本とする賃金水準の算定期限の適否を確認、指導すること</p> <p>(㊧) 福利厚生費、キャリアパス及び職場環境等要件に要する費用ではなく、賃金改善に使用すること</p> <p>(3) 消費税及び地方消費税の引き上げに伴う税収は、社会保障の充実、安定が目的であることから、介護サービスに必要な予算確保と実施体制の整備を進めるなど、適切な執行と執行状況を公表すべきではないか</p> <p>1 子育て施策と教育施策の一元的支援体制について</p> <p>(1) 大崎市教育委員会の子育て政策理念は</p> <p>(2) 小学校などの統合に伴う子育て、地域教育の変化への教育委員会の役割は</p> <p>(3) 子供の成長に合わせた一元的な支援体制の確立は</p> <p>2 内水面漁業の振興政策について</p> <p>(1) 生物多様性地域戦略や観光施策との内水面漁業振興の連携的政策は</p> <p>(2) 中小河川、湖沼の環境保全と防災減災政策は</p> <p>(3) 地域創生の仕事づくりと内水面振興策は</p> <p>3 9・11 豪雨災害への迅速な復旧対応について</p> <p>(1) 降雪期を迎えた災害復旧への迅速対応を</p> <p>4 空き店舗活用への支援戦略について</p> <p>(1) 空き店舗活用施策と異業種な業態育成の支援施策は</p>
11	9	木村和彦	<p>1 指定管理制度と市民協働のまちづくりの考え方について</p> <p>(1) 指定管理にする要件は</p> <p>ア 民間委託と指定管理の範囲の考え方</p> <p>(2) 市民協働の考え方が受託者の負担になっていないか</p> <p>ア 指定管理料と運営コストの考え方</p> <p>イ 指定管理者の変更事由</p> <p>ウ 高収益施設、利益性の少ない施設それぞれの指定管理料</p> <p>2 まちなか再生について</p> <p>(1) 市役所本庁舎建設の方向性</p> <p>ア 本庁舎建設とまちなか再生、活性化の考え方</p> <p>イ 七日町周辺の再開発計画と本庁舎建設の整合性</p> <p>3 幼保一元施設等民間活用について</p> <p>(1) 将来の運営形態、民間委託の基本コンセプト</p>
12	8	鎌内つぎ子	<p>1 おおさき地方創生総合戦略の主要事業について</p> <p>(1) 定住人口を増やすために、大崎市では何が必要なのか</p> <p>(2) 国・県にとられない大崎市の戦略は</p> <p>2 大崎市広域防災活動拠点整備（子育て関係）について</p> <p>(1) 子育て支援施設等のプランは</p> <p>(2) 防災施設の屋内訓練所など、屋根のある公園にできないのか</p> <p>3 高齢者支援事業について</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの構築への考えは</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
13	5	佐藤弘樹	<p>ア テンミリオンハウス事業に取り組んではどうか</p> <p>4 三本木の県有地にパークゴルフ場を早期に整備することについて</p> <p>(1) 進捗状況はどうなっているのか</p> <p>(2) 完成時期はいつか</p> <p>5 9・11 豪雨災害対策について</p> <p>(1) 今般の水害に係る雑損控除は</p> <p>(2) 借上げ住宅による支援は</p> <p>1 音楽が聞こえる都市づくりと方向性</p> <p>2 家庭教育推進と認識</p> <p>3 私立幼稚園への運営支援と連携</p> <p>4 学校給食センター建設の進捗</p> <p>5 知財総合支援の周知と活用</p> <p>6 農産物直売所への支援強化策</p> <p>7 観光公社の職員体制とふるさと納税成果</p> <p>8 ささ結等の大崎産米販売戦略</p> <p>9 市民病院院内保育所の環境整備</p> <p>10 鹿島台駅駅広工事の進捗とオープニング事業</p>
14	17	山田和明	<p>1 若者の政治参加を進めることについて</p> <p>(1) 若者の政治離れ、低投票率は依然として深刻であるが、その対策はどうか</p> <p>(2) 高校3年生を含めた18歳、19歳の若者の政治参加を進めることの考えは</p> <p>2 おおさき市民健診について</p> <p>(1) 前立腺がん検査の結果通知で精密検査が必要になった場合、指定医療機関で受診しなければならないのか</p> <p>3 水防災拠点のあり方について</p> <p>(1) 鹿島台志田谷地地区の水防災拠点が、9・11集中豪雨でどのような役割を果たしたのか</p> <p>(2) 水防災拠点の整備はどうなっているのか</p>
15	20	山村康治	<p>1 攻めの農業大崎版について</p> <p>(1) 10月5日、TPP大筋合意の報道に大きな衝撃を感じた。本市の基幹産業である農業にとってこの先への不安が大きくなっている。農家が希望と夢の持てるような農業施策をどう考えているのか、伺う</p> <p>(2) ささ結デビュー1年目の販売戦略と28年の取り組みは</p> <p>(3) アグリビジネス創出事業の成果と今後の普及拡大方針は</p> <p>2 市税等の収納率向上策について</p> <p>(1) 平成21年から始まった宮城県地方税滞納整理機構によるこれまでの成果は</p> <p>(2) 11月から12月は宮城県一斉滞納整理強化月間としていますが、どのような方策で行うのか</p> <p>(3) 前年度決算による市税の収入未済が1,712,786,882円であり、依然として多額の累計額になっていると監査</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>意見にあるが、これまでの徴収対策をどう進めてきたのか、またどの程度縮減されたのか</p> <p>(4) 滞納繰越分の収入率が第2次市税等収納率向上対策3カ年計画で掲げた26年度の数値目標18%に達しなかったと指摘がある。実効性ある滞納整理計画とその対策は</p> <p>(5) 児童福祉費負担金の保育料関係で、滞納繰越分の収納率は上昇しているが現年度分は低下している。後年の不納欠損につながらないように、積極的な対策を図るよう監査意見がある。現在どう取り組み改善されているのか</p> <p>(6) 27年度から宮城県住宅供給公社へ管理代行となった市営住宅だが、滞納繰越分の住宅使用料の収入率の低さは顕著で、現年度分収入未済が2千万円を超える状態は尋常とは言えないと監査指摘がある。解消に向けてどう取り組んでいるのか</p> <p>(7) 財産収入で、土地建物貸付収入の収入未済が長期にわたり多額の債権もあると指摘がある。回収方策をどう講じているのか</p> <p>3 児童生徒の安心・安全対策について</p> <p>(1) 冬期の通学路除雪対策、特に歩道の除雪対策はどうか</p> <p>(2) 通学路ガードレール設置は</p> <p>(3) 道路沿いの腐食した標識類の取りかえは</p> <p>(4) いじめ防止対策は</p>
16	21	門間 忠	<p>1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>(1) 宝の都（くに）・おおさき地方創生総合戦略が策定されるが、基本目標と具体的政策はどう定めるのか</p> <p>(2) 総合戦略の推進体制と財源の確保はどうなっているのか</p> <p>2 TPP交渉合意による本市農業への影響と対策について</p> <p>(1) TPP交渉が大筋合意したが、農業への影響は大きい。本市農業への影響をどのように捉えているか</p> <p>(2) 持続可能な農業経営のために予定する対応策は</p> <p>3 職員構成について</p> <p>(1) 定員管理の先には、将来的にバランスの取れた職員構成となるのか</p> <p>(2) 業務職は非常勤採用を原則としているが、待遇改善策やアウトソーシングを行うべきではないか</p> <p>4 教育環境整備指針について</p> <p>(1) 鹿島台第二小学校が鹿島台小学校に統合され廃校となるが、その後の施設利用と管理についてどのように対応しているのか</p>
17	1	佐藤仁一郎	<p>1 本市の水害時における危機管理体制の確認について</p> <p>(1) 豪雨時の河川堤防の越流、決壊危険時の初動体制は</p> <p>(2) 古川市街地の周辺部での水害情報の確認体制は</p> <p>(3) 自主防災組織、消防団の役割と指揮体制の確認は</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
18	28	大山 巖	<p>(4) 河川防災ステーションの活用及び各災害協定が活かされたか</p> <p>(5) 鳴瀬川総合開発計画の早期完成を求めるべきと考えるが、どうか</p> <p>2 公共交通空白域の交通弱者支援策について</p> <p>(1) 公共交通空白地域への対策はあるのか</p> <p>(2) 交通弱者の考え方と支援策をどう考えるのか</p> <p>(3) グループタクシーの利用要件の緩和はできないか</p> <p>3 幼保施設における職員体制と雇用環境について</p> <p>(1) 施設の入園定員数に対し、職員数の不足により定員を満たすことができない施設はあるのか</p> <p>(2) 未来を担う子供たちを預かる職員の情熱維持にも、待遇改善を計るべきではないか</p> <p>(3) 市営幼保一元化施設の民営化の方向性は</p> <p>4 地方創生における地域自治組織への支援策について</p> <p>(1) 合併10年を迎え、第2期といえる地域自治組織の運営に当たる事務局を支援強化する意味からも事務局員の地元採用を支援すべきではないか</p> <p>(2) 地区館などにおいて生涯学習や社会体育、社会教育を担う職員と地域づくり委員会の事務を担う職員は、分けて雇用すべきではないか</p> <p>(3) 地域づくり委員会の今後の方向性として、高齢者の生活支援、介護予防対策も大きな役割を担うと思うが、どうか</p> <p>1 事務、事業、職員等の改善について</p> <p>(1) 情報環境整備として、タブレット端末を活用し、議場配付資料を大幅削減した事例があるが、本市での考えは</p> <p>(2) 人事異動に公募制を導入してはどうか</p> <p>ア 人間は全てがオープンではないので、表面に出てこない隠れた能力は評価し難く、適材適所に配置されないために人材が活かされていない、能力が埋まったままになっていることは否定できないと認識するが、公募制導入の考えは</p> <p>2 農業経営の安定化対策について</p> <p>(1) 米価の大幅値下げ、乳価の値下げなど、全資産を処分しても負債を返済できないためにやむなく農業を続けているが、続けていくことができないと判断される農家に対し、行政として何らかの打つ手はないか。あわせて、ボーダーライン層の農家への対策を考えているものがあるのか</p> <p>(2) 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置法が平成19年に制定され、被害防止対策に取り組む中、本市の農林業に受ける被害は毎年膨大な額に上っているが、次のとおり問う</p> <p>ア どのような被害防止計画を策定しているのか</p> <p>イ 鳥獣捕獲の実施状況はどうか。また、防護柵等は適正</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	10	加藤善市	<p>数量を設置しているのか</p> <p>り 高齢化が進む中、ハンターの人材確保計画はどうか</p> <p>3 市道のアスファルト劣化による損傷、公の営造物の管理の 瑕疵に係る損害事故の防止対策について</p> <p>(1) 市内自治会や企業、ボランティア団体等と協定を結び 道路の損傷情報や軽微な補修、清掃活動などを行う道 路サポーター制度を活用してはどうか</p> <p>(2) 高度経済成長期に建設された多くの公共施設、いわゆ るインフラの老朽化は100%発生することが確実で、 「社会資本の老朽化は想定内の緩やかな震災」とも言 われている。本市公共施設の老朽化対策はどうか</p> <p>1 9・11 豪雨被害の復旧状況について</p> <p>(1) 住宅の復旧状況は</p> <p>(2) 農業支援策（冠水した米、豆など）の考えは</p> <p>2 幼稚園について</p> <p>(1) 敷玉幼稚園の休園の考えは</p> <p>(2) 今後の幼稚園のあり方はどうか</p> <p>3 景気対策について</p> <p>(1) 新たな地域消費喚起策の実行は</p>
20	22	木内知子	<p>1 凜菜・上の家の効果的活用について</p> <p>(1) これまでの運営状況の検証</p> <p>(2) 大崎市の迎賓館として位置づけた活用ができないのか</p> <p>2 産業創造推進事業をさらに進めることについて</p> <p>(1) NPO法人未来産業創造おおさきとの連携を一層強め ていくための方策は</p> <p>(2) 創業支援のあり方は</p>
21	12	関 武徳	<p>1 災害に強い安全・安心のまちづくりについて</p> <p>(1) 9・11 水害被災の検証と対応課題は</p> <p>(2) 市街地開発と雨水排水量の算定や排水経路等の再検証 等の取り組みは</p> <p>(3) 中山間、急傾斜地域への対策は</p> <p>(4) 自主防災組織の防災力強化、維持への検証は</p> <p>2 児童生徒の健全育成の現状と支援体制について</p> <p>(1) いじめや不登校、不良行為等の実態と指導、相談体制 の充実強化策は</p> <p>(2) 子供の貧困対策と支援策は</p> <p>(3) 子供の個性、意欲を引き出す環境づくりへの取り組み は</p> <p>(4) 民間支援との連携は</p>
22	13	遊佐辰雄	<p>1 9・11 豪雨災害の復旧状況と改修見通しについて</p> <p>(1) 築沢の堤防決壊の改修見通し</p> <p>(2) 湯沢川の堤防侵食の改修見通しと冠水対策</p> <p>(3) 大畑地区の冠水対策と見通し</p> <p>(4) 小身川原地区の道路側溝設置について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
23	7	相澤久義	<ul style="list-style-type: none"> (5) 鷺ノ巣地区の側溝改修について (6) 岩出山地域の市道中名生寺線の開通見通し (7) 農地, 農業施設, 農機具, 農産物等の被害への支援策について 2 ウイルス性肝炎への新薬の保険適用について <ul style="list-style-type: none"> (1) 患者負担の増加にはならないのか (2) 国保財政への影響について 1 合併後 10 年の検証としての新市建設計画について (PART 1) <ul style="list-style-type: none"> (1) なかなか進まない三本木地域市道多高田線, 真岸線の問題点と解決策などの考え方は (2) 手つかずの三本木地域市道牛沼線, 川井山根線に着手しない理由は何か (3) 一体性事業の環状道路北屋敷・宮内線整備の考え方は (4) 鳴子及び田尻総合支所の庁舎建設は本当か 2 特別支援教育への療育, 相談の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 特別支援教育の中で療育, 相談が最も必要と言われているが, 現状は
24	18	後藤錦信	<ul style="list-style-type: none"> 1 過疎地域自立促進計画への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 28 年度から 5 年間延長に伴う計画の作成は (2) おおさき地方創生総合戦略との連動は 2 社会教育の充実と人材育成について <ul style="list-style-type: none"> (1) 指定管理で運営されている地区公民館の人材育成と人件費は (2) 地区公民館における社会教育充実に向けての予算措置は (3) 交流事業 (国内, 国際) による人材育成は
25	19	氏家善男	<ul style="list-style-type: none"> 1 合併 10 周年記念事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 子供議会の開催は 2 理容福祉の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 理容福祉の実態は把握しているのか (2) 取り組みへの考えは 3 耕作放棄地について <ul style="list-style-type: none"> (1) 耕作放棄地の現状は (2) 農地への復元と山地化は (3) 放棄地発生抑止への取り組みは 4 中間管理機構について <ul style="list-style-type: none"> (1) 取り組み状況と実績は (2) 事業内容と 28 年度に向けた取り組みは 5 汚染牧草について <ul style="list-style-type: none"> (1) 管理状況は (2) 指定廃棄物処分場は (3) 県外への移動は